

## 北九州緩和ケアネットワーク

矢津 剛

●北九州緩和ケアネットワーク代表  
医療法人矢津内科消化器科クリニック 院長



### 要旨

2017年12月に発足した北九州緩和ケアネットワークは、緩和ケア病棟、在宅支援診療所、訪問看護、介護施設。さらには、がん拠点病院、急性期病院、緩和ケアに関わる団体、患者会等含めてネットワークを拡げていき、北部九州全体で、介護施設や看護師、医師に向けての研修会や交流会、また地域においては、「相談窓口」の設置やミニ講演会の開催。そして年度末には、市民の方々への啓発としての「在宅ホスピスフェスタ」「在宅ホスピスを語る会」の開催といった内容を企画している。

在宅ホスピスを経験した家族・遺族の方々のご苦労や、在宅でご家族をお看取りできた達成感をお話いただくことで、一般市民の方々や看護施設の介護職の方々には、末期がんであっても在宅緩和ケアを導入し、在宅で看取りが可能であることを啓発することを目標にしている。

一方、在宅ホスピスに従事した介護職や看護師の方々には、自分たちのケアを見直す機会や新たな気づきを得ることにより、在宅緩和ケアのスキルアップが可能となる。また皆のグリーフケアにもつながる研修会を企画している。

2019年度ご支援いただいた事業内容は以下の通りである。

#### ●在宅ホスピスを語る会「家族と過ごす大切な時間」

3月9日(土) 13時半～16時半／会場：八幡医師会視聴覚室／参加50人

○13時半～ ギターアンサンブル「エスポワール演奏」

○14時～ 語る会実施 司会：井手誠一郎氏(井手消化器呼吸器外科医院)

- ・膵臓がんで1年以上が経過した方のお話
- ・胃がん術後の肝転移で1週間という限られた時間を過ごされた方のお話

○後半 司会：川本京子氏(健和会上津役診療所)

- ・卵巣がん術後7年間闘病生活を送り、その間にすべての準備をされた方のお話

#### ●講演会「非がん性呼吸器疾患の緩和ケア」

5月20日(月) 19時～21時／会場：小倉記念病院4階講堂／参加150人

講師：津田徹氏(霧ヶ丘つだ病院院長)

#### ●死の臨床研究集会九州支部大会

7月6日(土) 9時～、13時半～／会場：小倉記念病院4階講堂／参加130人

○9時～ 介護職のための看取りワークショップ

○13時～ 事例検討トークセッション：在宅・デイホスピスについて語り合おう

木村治世氏(小倉医師会緩和ケアデイサービス)

小野幸代氏(療養ナーシングデイサービス)

水野英尚氏(銀の庵 地域生活ケアセンター)

(日中一時支援：平野頼子氏、看護小規模多機能型居宅介護3丁目の花や)

## ●ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム

9月7日(土)、8日(日)／会場：北九州市立医療センター／参加30人

\*「ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム」とは、エンド・オブ・ライフ・ケアや緩和ケアを提供する看護師に必須とする能力取得のための系統的、包括的な教育プログラムで10のモジュールで構成されている。

## ●シンポジウムとゲーミフィケーション「ギャップを知る」

9月30日(月)19時～／会場：JCHO九州病院講堂／参加150人

ミニレクチャー：テーマ「病院からの退院に際してのジレンマ」

山口健也氏(JCHO九州病院緩和ケア科)

河野精一郎氏(浅川学園在宅クリニック)

白石知子氏(訪問看護ステーションむつみ)

角美穂子氏(産業医科大学病院がん相談支援センター)。

その後、病院従事者と在宅従事者との活発な意見交換、及びテーマ別のゲーム要素を取り入れたディベートを行った。

## ●在宅ホスピスフェスタ北九州

10月27日(日)10時半～17時／会場：AIM3階展示室、会議室／一般市民を含む参加400人

○10時半～シンポジウム「がんが再発・転移した時あなたは？」

江崎泰斗氏(九州がんセンター臨床研究セン



北九州緩和ケアネットワークJCHO

ター長、腫瘍内科部長)

原口勝氏(公立八女総合病院みどりの杜病院長(緩和ケア病院))

清水大一郎氏(清水クリニック院長(福岡))

岩崎瑞枝氏(ファイナルステージを考える会代表世話人)

五十嵐享平氏(NHKプラネット九州支社プロデューサー)

○13時15分～語る会

桐谷浩一氏(金刀比羅診療所所長)

久保敦子氏(訪問看護ステーションのぞみ)

池田さやか氏(池田薬局)

○13時15分～「もしばなゲームで人生を語り合おう」

太郎良純香氏(北九州市立医療センター緩和ケアセンター)

○14時～シンポジウム「AYA世代や壮年期の人々ががん・難病と向き合い生きるを支えるには」

田村恵子氏(京都大学緩和ケア・老年看護学教授)

町永俊雄氏(福祉ジャーナリスト)

上野創氏(朝日新聞東京本社・精巣腫瘍サバイバー)

白水千穂氏(がん当事者)

矢津剛(緩和ケア医)

○15時～「ALS症例を通して臨床倫理を学ぶ」

木村喜男氏(木村医院院長)

杉本みぎわ氏(暮らしの保健室in若松)

その他、パネル参加の活動報告も行われ、明治学園学生による在宅体験報告なども行われた。



在宅ホスピスフェスタ北九州2019